

## 平成 29 年度 事業計画

臨床検査技師の業務拡大に伴う検体採取等に関する厚生労働省指定講習会も、第 3 回を開催することができ、506 名（65%）の方が修了した。

さらに、今年度も第 4 回沖縄県開催に向けた事業計画を進めていく。

### 日臨技推進事業

- 1、第 2 回検査説明・相談できる臨床検査技師育成講習会の開催を 3 月に予定。
- 2、日臨技の病棟業務実践の取り組みの連携。  
病棟業務推進施設連絡協議会（情報交換、調査等）が発足。参加加入の推進。
- 3、昨年度事業計画、消化器内視鏡の業務拡大についての研修会参加は、県内での内視鏡従事者の業務把握ができておらず、停滞している状況。

### 沖臨技事業

公益事業（一般県民・市民）を対象にした講演会を、拡大、実施していく。

- ・いびきと睡眠障害

日時：平成 29 年 4 月 29 日（土）13：00～17：00 予定

場所：浦添市てだこホール（市民交流室）

- ・乳がん啓発講演会 検査法～治療
- ・県民健康フェア（沖縄県保健医療連合会）8 月 20 日（予定）
- ・ピンクリボン参加 10 月
- ・検査と健康展 11 月
- ・沖臨技学術部各部門より講演会予定
- ・その他

### 重点事業

- ・第 4 回検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 沖縄県開催交渉中
- ・各施設の精度保証認証施設取得に推進
- ・沖縄県医師会臨床検査精度管理調査 8 月
- ・施設責任者連絡会議 検査部（科・室）
- ・新人宿泊研修会 7 月 1 日（土）～2 日（日）予定
- ・JCCLS 共用基準範囲導入の支援
- ・地域ニューリーダー育成研修会参加派遣 1 名
- ・女性管理職育成セミナー講習会派遣
- ・理事会議事録のホームページ掲載

## 【総務関係】

### 1. 組織運営の強化

- 1) 日臨技、九州支部、各都道府県技師会との連絡・連携体制の構築及び維持。
- 2) 会員数は増加傾向にあるが、引き続き継続会員、新入会員の確保に努める。
- 3) 日臨技企画講習会、認定等の効率稼働（会員への啓蒙）。
- 5) 行政庁、他医療関連団体との交流を密にし、連携をはかる。
- 6) 財務管理の徹底と強化。
- 7) 各種委員会の円滑運用の補助。

### 2. 情報、連絡網の強化

- 1) 定期便の活用
- 2) 会員名簿管理と有効活用
- 3) 先島地区の情報共有と学術支援
- 4) 日臨技会員専用サイトの活用普及と情報更新の促進

### 3. 広報活動

- 1) 沖臨技ホームページの充実（円滑運用、リアルタイムな更新）
- 2) 各種メディアの活用

### 4. その他

- 1) 公益目的支出の計画的運用
- 2) 事務員の効果的業務運用と就業環境整備
- 3) 沖臨技会誌の継続発行
- 4) 各賞受賞・祝賀会の開催
- 5) 渉外、学術と協働した事業の推進
- 6) 「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」定員：50～100名  
日時：平成29年9月17日（日）、18日（月）予定。  
場所：琉球大学医学部臨床講義棟2F
- 7) 日本臨床検査技師連盟沖縄県支部活動への協力

## 【渉外関係】

### 1. 日臨技九州地区医学検査学会 10月21日～22日（第52回；長崎県担当）

開催に向けた県内の啓蒙活動

### 2. 第9回新人宿泊研修会に向けた啓蒙活動

日時：平成29年7月1（土）～2日（日）、場所：ペンションきちむい（予定）

### 3. 公益事業の継続

- 1) なごみ会県民健康フェア（平成29年8月20日予定）
- 2) 日臨技公益委託事業
  - ・睡眠時無呼吸講演会（4月29日 浦添市てだこホール市民交流室）
  - ・検査と健康展事業（11月予定）

- 3) ピンクリボン 2017 沖縄イベント協力 (10 月予定)
- 4) 県民健康公開講座 (健康運動指導士会主催) への協力

4.他医療団体との連携活動

- 1) 各種関連団体主催行事などへの参加協力
- 2) 沖縄県保健医療連合 (なごみ会) や沖縄県医療推進委員会への参加
- 3) 沖縄県公衆衛生協会、小児保健協会への協力
- 4) 関連団体の新年会・祝賀会等への参加

5.その他

- 1) 会員相互の親睦を深める行事の取組み
- 2) 沖縄技発展のため必要な事業を行う

【学術関係】

1. 第 53 回沖縄県医学検査学会 (平成 29 年度)

- ・会期：平成 29 年 6 月 11 日 (日)
- ・会場：琉球大学医学部臨床講義棟・保健学科棟
- ・学会テーマ：「検査室から臨床へ ～臨床検査技師のなすべきこと～」
- ・学会長：宮城 和文 (琉球大学医学部保健学科)、実行委員長：山城 篤 (那覇市立病院)
- ・学会誌編集長：安里 光宏 (中頭病院)
- ・教育講演 I  
「検査データの見方・考え方 (生化学・血液)」  
講師：山内 恵 (琉球大学医学部附属病院)、手登根 稔 (浦添総合病院)
- ・教育講演 II  
「R-CPC」  
講師：山城 信 (沖縄県立中部病院)
- ・ハンズオンセミナー  
「肝臓疾患を見落とさないための走査法と工夫」  
講師：松田 英世 (豊見城中央病院) ほか
- ・輸血検査実技実習  
「試験管法における凝集観察方法について考える」  
講師：栗國 徳幸 (浦添総合病院)
- ・一般演題 47 題

2. 部門別検査研究分野の運営

今年度も日臨技に進じて、9 部門 14 分野の学術活動 (研修会・講演会等) で運営して行く。

部門	分野
1. 生物化学分析	1) 臨床化学検査
	2) 免疫血清検査
2. 臨床生理	1) 神経生理検査
	2) 循環・呼吸生理検査

	3) 画像診断検査
3. 病理・細胞	1) 病理検査
	2) 細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

### 3. 平成 29 年度（第 33 回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施

県内の約 90 施設を対象に、今年度同様、生化学・免疫検査、微生物検査、血液検査、一般検査、輸血検査、生理検査、病理・細胞検査の 8 分野について実施予定（8 月頃予定）。

### 4. 九州支部卒後セミナー（生化学）の沖縄県開催

会期：平成 29 年 11 月 3 日（土）・4 日（日）

会場：沖縄県男女共同参画センターていりる

内容：症例を臓器別で示したデータの読み方など

### 5. 第 66 回日本医学検査学会（千葉県）の開催

会期：平成 29 年 6 月 17 日（土）・18 日（日）

会場：幕張メッセ国際会議場、国際展示場

テーマ：「Vision・夢・創造」

### 6. 平成 29 年度日臨技九州支部医学検査学会第 52 回（長崎県）の開催

会期：平成 29 年 10 月 21 日（土）・22 日（日）

会場：長崎ブリックホール（長崎市）

テーマ：「“繋”未来へ向けての挑戦」

### 7. 第 9 回沖縄県新人宿泊研修会の開催

日時：平成 29 年 7 月 1 日（土）・2 日（日）

場所：ペンションきちむい（宜野座村）

対象：1～3 年目もしくは各部門の初心者

※技師会の組織・各業務内容の説明、技師連盟、各学術分野長によるレクチャー等。

### 8. 機関誌の発行

今年度も、学会誌を含んだ沖縄県臨床検査技師会誌第 54 巻を発刊する。論文や学術関連、啓発活動などの年間行事だけでなく、一般会員に反映できる場として位置づけていきたい。今年度の編集長は、安里部門長（中頭病院）が担当し、9 名の部門長、医療情報分野長、学術副会長を中心に編集していく。

### 9. 各種研修会

日臨技より 1 研修会につき 5 万円の助成金制度（最大 20 研修会：100 万円まで）は、昨年より 2 万円プラス参加人数 1 名につき 500 円の申請方式になっている。平成 28 年度の沖縄県では 17 研修会を実施しており、地理的制約など不憫な面からも、この助成金制度を活用して、充実した研修会を引き続き展開したい。

## 10. 部門長会議の継続

学術理事、部門長、分野長を含めた学術会議は、偶数月の年6回開催している。現在、学術関連事業が多く、学術担当副会長の役割がかなり厳しい状況をむかえている。昨年度から学術委員の核にあたる部門長を中心とした部門長会議を奇数月に不定期で開催しており、今年度も引き続き継続していきたい。